

# 令和3年度 猪名川町・小学校 学習到達度調査の結果について

## ■ 調査目的

- 猪名川町内の小学校児童の学習状況を調査し、学習指導要領に定められた学習内容の定着状況を把握するとともに、今後の学力向上および指導の改善に資する。

## ■ 調査内容

- 調査目的に基づき、学習指導要領に定める内容について、基礎・基本および活用の力を測る問題で構成した。

## ■ 調査対象

- 猪名川町内の公立小学校5年生の児童
- 調査対象教科は、国語・算数

## ■ 調査日

令和3年4月15日（木）

## ■ 調査結果

【小学校の調査結果】

		猪名川町全体 正答率 (%)	目標値 (%)	全国平均 正答率 (%)	受験者数 (人)
小学校・ 5年生	国語	59.9	65.6(▲5.7)	67.8(▲7.9)	317
	算数	59.8	65.2(▲5.4)	65.3(▲5.5)	317

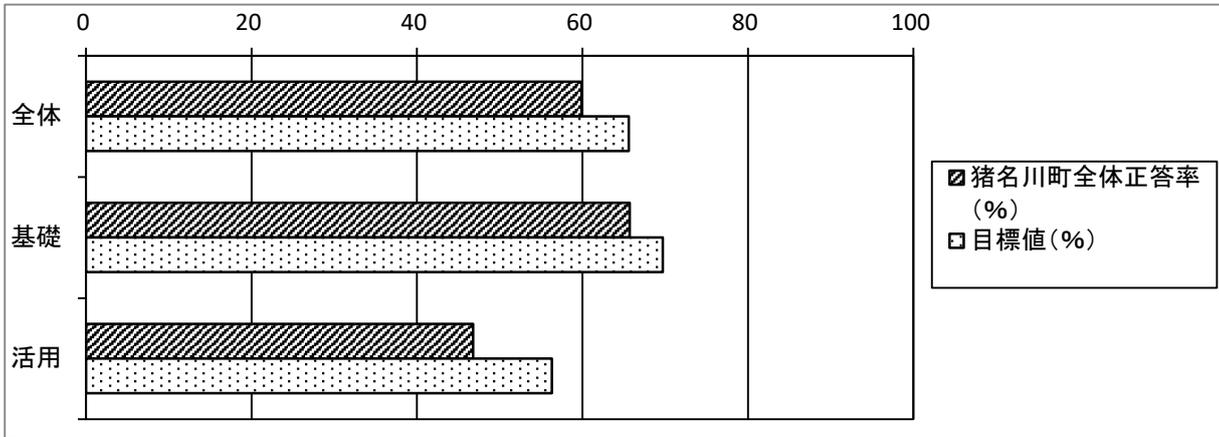
※「目標値」とは、学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した児童の割合。出題の形式や解答の形式により、難易度を算出する。

- 町全体の正答率は、国語・算数ともに目標値を5ポイント以上、下回っている。

## ■小学校5年生 国語

### (1) 基礎・活用正答率

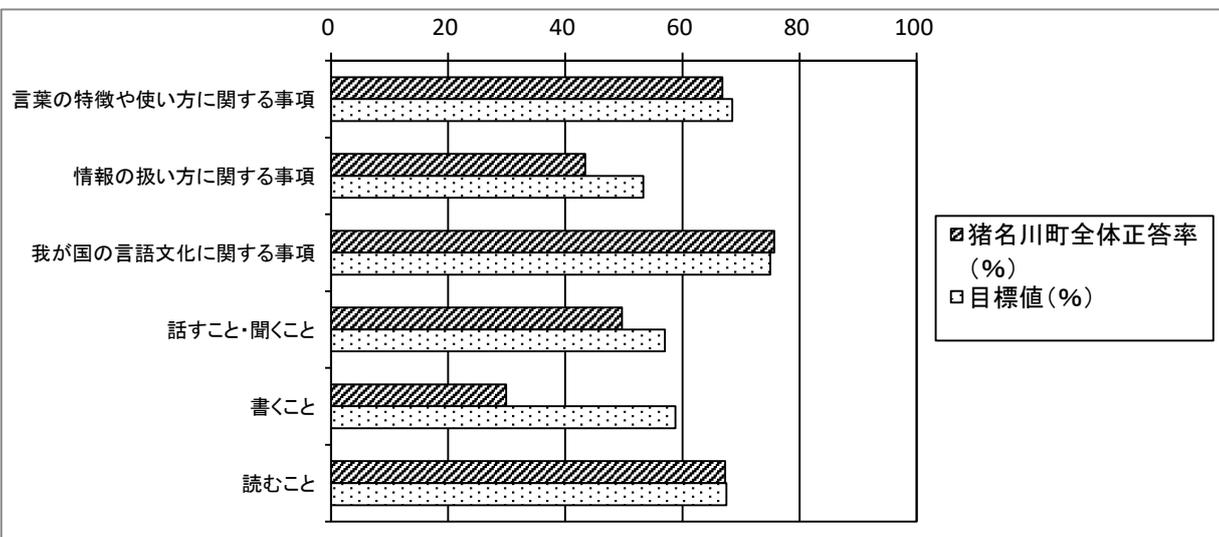
	全体	基礎	活用
猪名川町全体正答率 (%)	59.9	65.7	46.8
目標値 (%)	65.6	69.7	56.3
目標値との差	▲ 5.7	▲ 4.0	▲ 9.5



●基礎・活用別に見ると、基礎問題は65.7%と目標値を4ポイント下回っている。活用問題については、46.8%と目標値を9.5ポイント下回っている。

### (2) 領域別正答率

	言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
猪名川町全体正答率 (%)	66.8	43.4	75.7	49.7	29.9	67.3
目標値 (%)	68.5	53.3	75.0	57.0	58.8	67.5
目標値との差	▲ 1.7	▲ 9.9	0.7	▲ 7.3	▲ 28.9	▲ 0.2

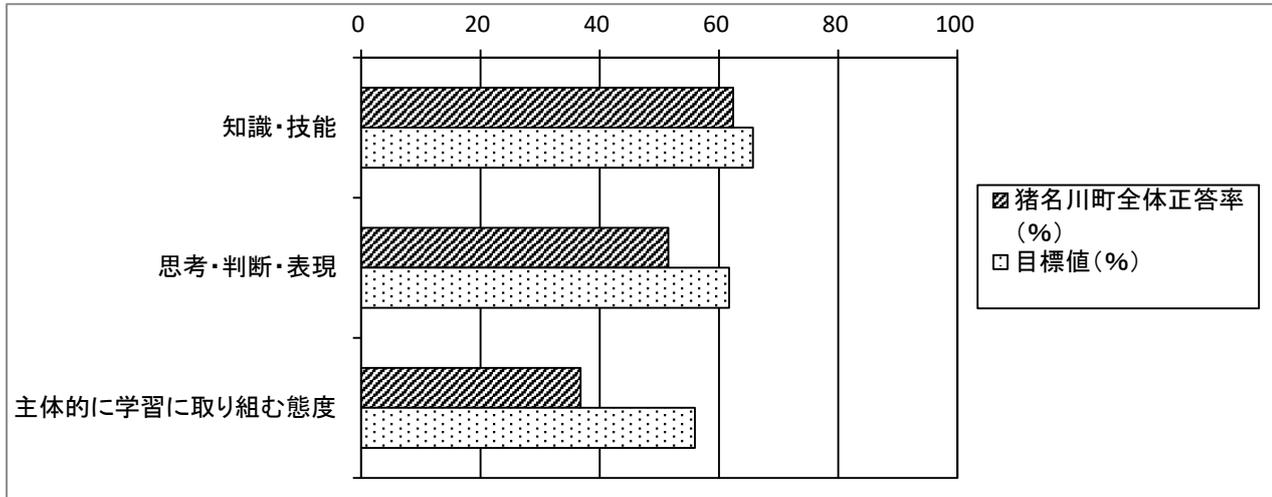


●領域別に見ると、「我が国の言語文化に関する事項」以外の項目で目標値を下回っている。

※この数値は小数点以下での誤差が生じる場合があります。

(3) 観点別正答率

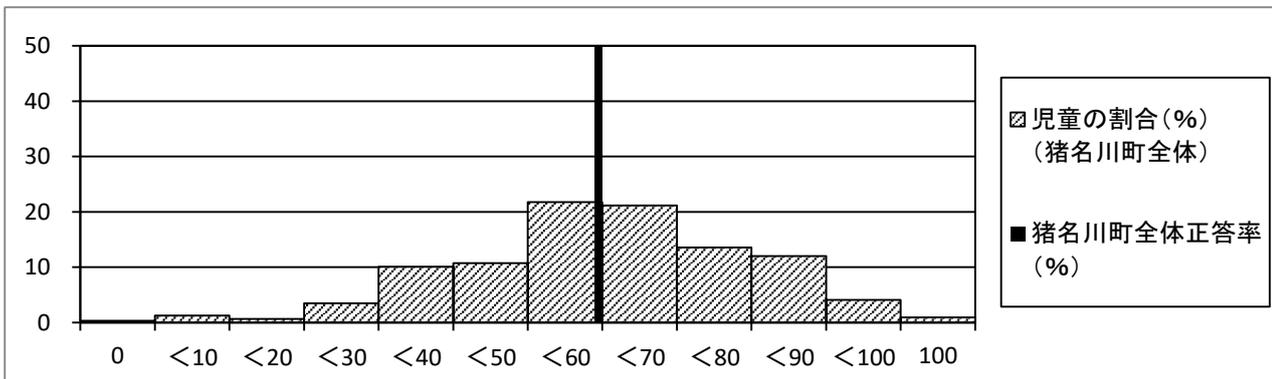
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
猪名川町全体正答率 (%)	62.4	51.5	36.8
目標値 (%)	65.7	61.7	56.0
目標値との差	▲ 3.3	▲ 10.2	▲ 19.2



●観点別に見ると、すべての項目が目標値を下回っている。

(4) 正答率度数分布

正答率 (%)	0	<10	<20	<30	<40	<50	<60	<70	<80	<90	<100	100
児童の割合 (%) (猪名川町全体)	0.3	1.3	0.6	3.5	10.1	10.7	21.8	21.1	13.6	12.0	4.1	0.9



●町全体では、正答率80%以上の児童が17.0%と、令和元年度の30.4%より減少した。正答率50%未満の児童は26.5%と、令和元年度の15.5%より増加した。

※この数値は小数点以下での誤差が生じる場合があります。

(5) 課題のある小問についての分析

大問1(2)

【話し合いの内ようを聞き取る】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	43.8	60.0	▲ 16.2	55.2	▲ 11.4
出題のねらい	話の中心を明確にするための話し手の工夫を捉えている。				
対策	聞き取りの問題では、話の内容を中心に聞くことになるが、授業でスピーチなどの聞き取りを行う際には、話し手がどのように話したのか、という話し方にも着目して聞くように指導することが大切である。そのような聞き取りの結果を、児童どうしの相互評価に生かすことにより、話を聞く態度を身に付けさせたい。さらに、スピーチをさせる際には、どのように話したら聞く側にとって分かりやすいのかを考えさせて、話し方を工夫させるとよい。				

大問2(2)③

【漢字を書く】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	51.4	65.0	▲ 13.6	63.6	▲ 12.2
出題のねらい	第4学年に配当されている漢字を正しく書いている。				
対策	送り仮名を間違えやすい漢字については、最初に誤って記憶してしまうとそのままになってしまう傾向が強いので、必要に応じ声に出して読ませるなど、年間を通して正しく書けるように指導することが大切である。また、分からない漢字があれば、その都度辞書などで確認させ、正しい漢字の知識を身に付けさせたい。				

大問5(2)

【説明文の内ようを読み取る】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	38.2	50.0	▲ 11.8	40.8	▲ 2.6
出題のねらい	情報と情報との関係について理解し、段落相互の関係を捉えている。				
対策	段落の役割を理解するためには、①段落ごとの内容を理解しながら、②文章全体で何を主張・説明しているのかを把握した上で、③各段落がその主張・説明のためにどのような働きをしているのかという視点で価値付けをしなければならない。正答できない児童が、①から③のどの段階でつまづいているのかを分析した上で、適切な指導をする必要がある。普通の授業で、段落ごとの内容を簡潔にまとめる習慣、及び接続語や段落の書き出しの一文に注目して段落相互の関係性を確認しながら読み進める習慣を身に付けさせておきたい。				

大問7

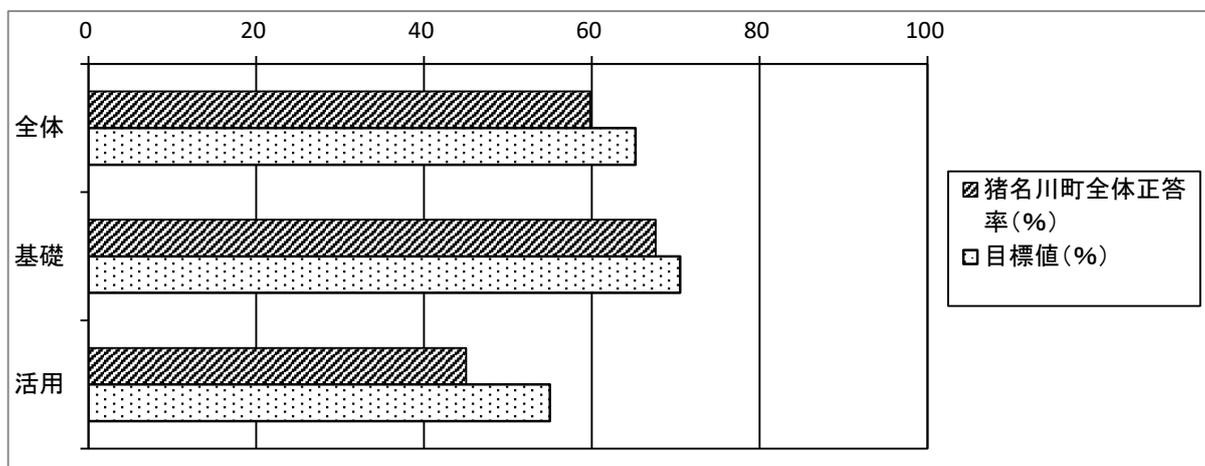
【文章を書く】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	25.9	65.0	▲ 39.1	55.2	▲ 29.3
出題のねらい	指定された長さで文章を書いている。				
対策	ある程度の長さの文章を書くためには、何をどのように書くかという見通しをもつことが必要になる。本問では、そうしたヒントが〈注意する点〉になっている。これを参考にすることで、第一段落と第二段落に何を書かなくてはならないかが分かる。また、児童にとって、書くことの学習で難しいことの一つに、文章の書き出しが挙げられる。問題文にある文言を使えば、書き出しが簡単にできることを、繰り返し指導して習得させたい。				

## ■小学校5年生 算数

### (1) 基礎・活用正答率

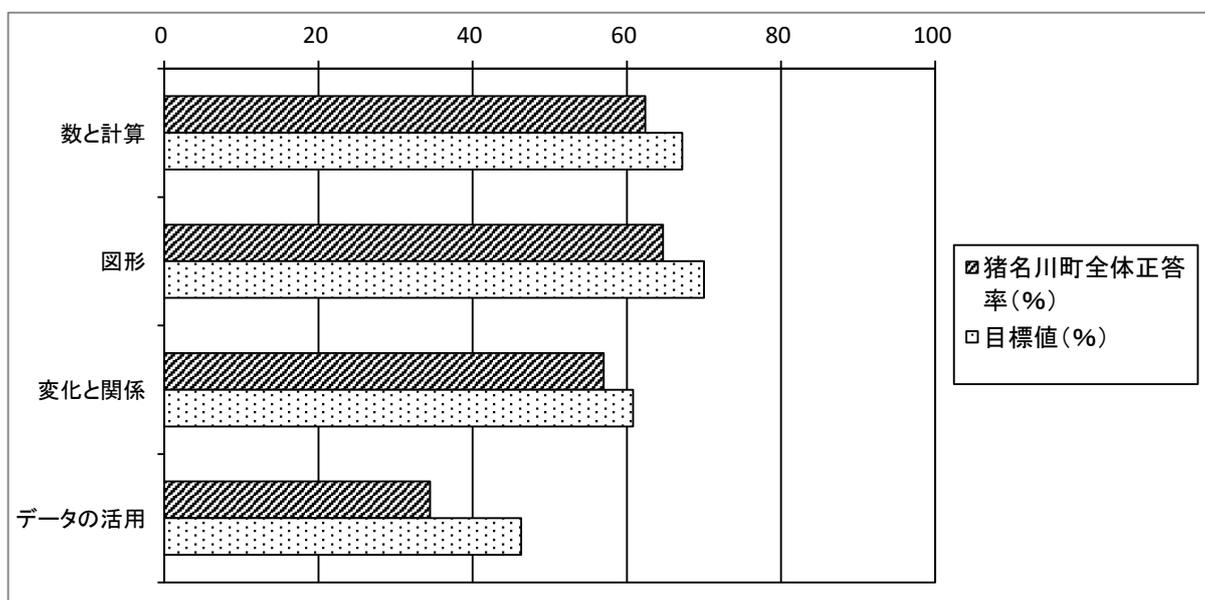
	全体	基礎	活用
猪名川町全体正答率 (%)	59.8	67.6	45.0
目標値 (%)	65.2	70.5	55.0
目標値との差	▲ 5.4	▲ 2.9	▲ 10.0



●基礎・活用別に見ると、基礎問題は67.6%と目標値を2.9ポイント下回っている。活用問題は45.0%と目標値を10.0ポイント下回っている。

### (2) 領域別正答率

	数と計算	図形	変化と関係	データの活用
猪名川町全体正答率 (%)	62.4	64.7	57.0	34.5
目標値 (%)	67.2	70.0	60.8	46.3
目標値との差	▲ 4.8	▲ 5.3	▲ 3.8	▲ 11.8

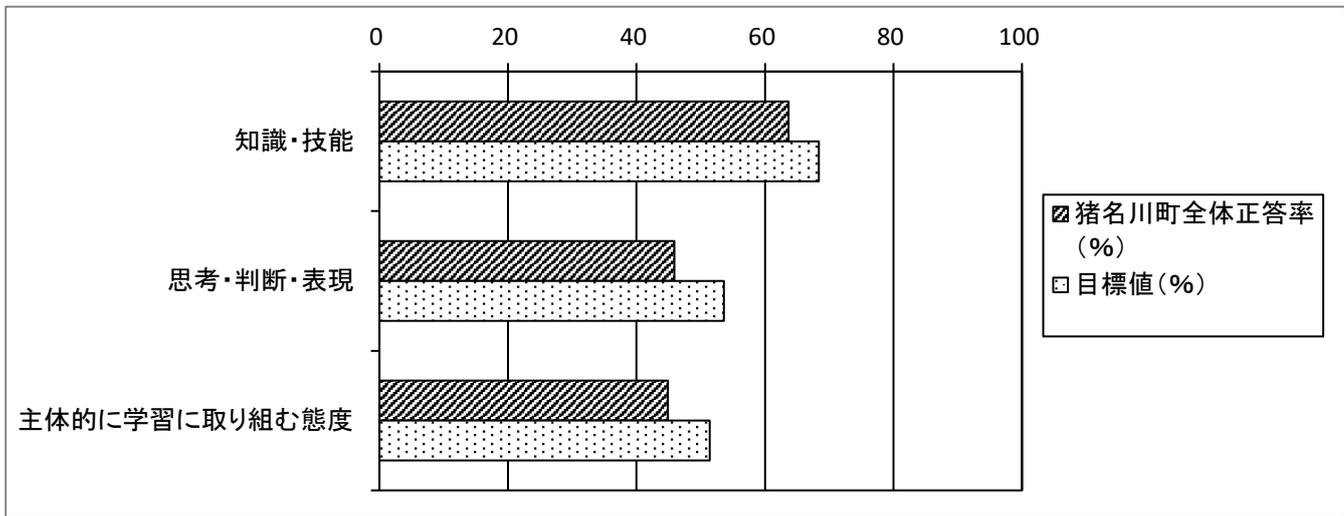


●領域別に見ると、すべての項目が目標値を下回っている。

※この数値は小数点以下での誤差が生じる場合があります。

(3) 観点別正答率

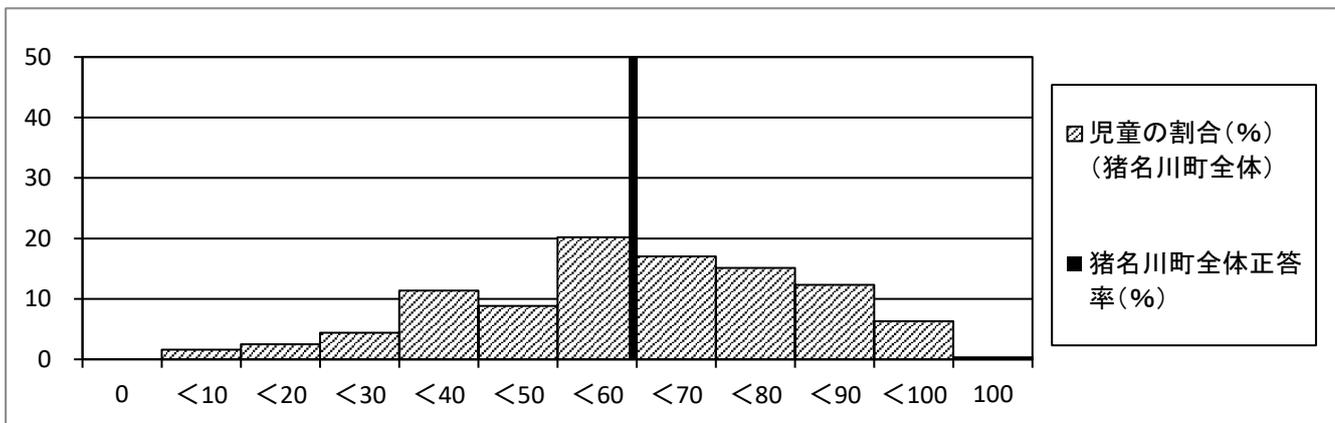
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
猪名川町全体正答率 (%)	63.7	45.9	44.9
目標値 (%)	68.4	53.6	51.4
目標値との差	▲ 4.7	▲ 7.7	▲ 6.5



●観点別に見ると、すべての項目が目標値を下回っている。

(4) 正答率度数分布

正答率 (%)	0	<10	<20	<30	<40	<50	<60	<70	<80	<90	<100	100
児童の割合 (%) (猪名川町全体)	0.0	1.6	2.5	4.4	11.4	8.8	20.2	17.0	15.1	12.3	6.3	0.3



●町全体では、正答率80%以上の児童が18.9%と、令和元年度の18.1%より増加した。正答率50%未満の児童は28.7%と、令和元年度の29.7%より減少した。

※この数値は小数点以下での誤差が生じる場合があります。

(5) 課題のある小問についての分析

大問5(2)

【億と兆・がい数の表し方】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	40.7	55.0	▲ 14.3	52.8	▲ 12.1
出題のねらい	概数に対応する数の範囲を理解している。				
対策	「以上」「以下」はその数を含み、「未満」はその数を含まないなど、言葉の意味をきちんと理解させる必要がある。その上で、四捨五入の範囲を的確に表現できるように指導したい。四捨五入については、数直線をかいてその範囲を考えさせることが大切であり、具体的な数を取り上げて検証させたい。				

大問6(2)

【小数】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	53.6	65.0	▲ 11.4	65.6	▲ 12.0
出題のねらい	小数第一位—小数第二位（差が純小数）の計算ができる。				
対策	小数は整数と同じ十進構造になっているので、小数の計算は、基本的に整数の計算と同じように考えてよい。位をそろえて計算することも整数の計算と同じである。本問においても、位をそろえて筆算を行う必要がある。このような筆算をするときに、位をずらして計算してしまう児童がいる。整数の計算で末尾をそろえて計算する習慣が身に付いているために生じる誤りとも考えられる。位をそろえるためには、小数点の位置をそろえ、10.7を10.70として計算する手立てが有効である。				

大問10(2)

【角の大きさ】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	54.6	70.0	▲ 15.4	62.9	▲ 8.3
出題のねらい	180° より大きい角の大きさを求めている。				
対策	分度器は180° までしか測ることができないので、それ以上の大きさの角を測る際には工夫が必要である。角の大きさも数量なので、加法性がある。何回かに分けて測ってもよいこと、180° は平角なので、分けて測る分割点として分かりやすいことなどを実感できるように指導することが大切である。角を測る前に、90° よりも大きいか、180° よりも大きいかを判断することも有効である。				

大問17(1)

【簡単な場合についての割合】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率 (%)	41.3	60.0	▲ 18.7	59.0	▲ 17.7
出題のねらい	数量の関係を、割合を使って説明することができる。				
対策	割合は、もとにする量を1と見たとき、比べられる量はいくつに当たるか、という見方をする。もとにする量が5cmの場合、比べられる量は3に当たるので15cmということになる。このように、2つの量の間には比例関係があることが前提となっていることを理解させたい。なお、親の年齢が子供の年齢の2倍であるという場合は、比例関係を前提としていないが、倍で表現することができる。倍と割合の違いを理解して指導することが大切である。				